

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		弘中 和憲	所 属		農学部 地域農業工学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・学部4年生5人, 大学院1年生2人, 大学院2年生2人, 合計9名の指導する。 ・学部授業(「生物生産システム設計学」, 「卒業論文Ⅰ」, 「ポストハーベストテクノロジー」, 「バイオシステム工学実験Ⅱ」, 「卒業論文Ⅱ」, 大学院授業(「農産施設工学特論」)を行う。 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・学部4年生5人, 大学院1年生2人, 大学院2年生2人合計9名の研究指導をおこなった。さらに, インドネシア交換留学生2名の研究指導, 講義を行った。 ・学部授業(「生物生産システム設計学」, 「卒業論文Ⅰ」, 「ポストハーベストテクノロジー」, 「バイオシステム工学実験Ⅱ」, 「卒業論文Ⅱ」, 大学院授業(「農産施設工学特論」)を行った。 		
研究	0.70	<ul style="list-style-type: none"> ・日本食品保蔵学会の評議員として, 任務を遂行する。 ・農業施設学会理事として, 任務を遂行する。 ・南方資源利用技術研究会理事として, 任務を遂行する。 ・国内学会1件の口頭発表を行う。・国内学会1件の口頭発表を行う。 			0.70	<ul style="list-style-type: none"> ・日本食品保蔵学会の評議員として, 任務を遂行した。 ・農業施設学会理事として, 任務を遂行した。 ・南方資源利用技術研究会の理事として, 任務を遂行した。 ・国内学会(農業機械学会九州支部大会(鹿児島), 食品保蔵科学会(東京))2件で口頭発表を行った。 ・国際学会誌Journal of Food Science and Technologyにコレスポンドング・オーサーとして論文掲載を行った。 		
社会 貢献	0.05				0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスで公開実験を行い, 高校生に科学の面白さを伝えた。 		
管理 運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・学術編集委員を務める。 ・4年生指導委員を務める。 ・全学国際交流自己点検・評価委員を務める。 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・学術編集委員を務め, 任務を遂行した。 ・4年生指導委員を務め, 任務を遂行した。 ・全学国際交流自己点検・評価委員を務め, 任務を遂行した。 		
進路 指導	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・4年次学生の就職支援(企業紹介)を行う。 			0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・4年次学生の就職支援(企業紹介)を行った。 		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		鹿内 健志	所 属		農学部 地域農業工学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.40	学部担当科目(農業情報工学, 農業電気電子工学概論等), 大学院講義(農学研究の方法)を担当し, ICTを活用し, 予習・復習を効果的に進める授業を実施する。 次指導教員として修学指導・相談を行う。			0.40	Learning Management System (Webclass)を効果的に活用し, 学部担当科目(農業情報工学, 農業電気電子工学概論等), 大学院講義(農学研究の方法)を担当した。教職科目(「農業科教育法Ⅰ」, 「教職実践演習」)については県内高等学校と協力し, 効果的に実施することができた。1年次指導教員として学習相談に対応した。		
研究	0.30	研究成果を学会・論文等で発表する。			0.30	科学研究費および産学官連携の研究成果を論文発表した。また, 農業環境工学関連学会等で研究報告を行った。		
社会 貢献	0.20	公開講座を実施する。 沖縄県の委員会の委員を務める。			0.20	公開講座(エクセルによる数学シミュレーション)を実施し, 高等学校での公開授業を行った。沖縄県の委員の委員を務めた。		
管理 運営	0.10	農学部の委員会活動等に積極的に参加する。			0.10	農学部の安全衛生委員, 教育委員, 学士教育プログラム委員等として委員会活動を行った。		
	0.00				0.00			
計	1.00				1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		平良 英三.		所 属		農学部		職 名		准教授	
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定				業務 ウエイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	学部担当科目で農業環境計測工学, 生物資源プロセス工学, 生物材料工学を行うとともに, 関連する実験や演習を担当する。学生の理解度に合わせた解説を行い, 基礎知識・技術の習得ができるように努める。学部学生, 修士学生が卒業研究に必要な実験や学習を指導する。				0.30	共通科目「情報科学演習」, 学部専門科目「農業環境計測工学」等, 大学院科目「食品工学特論」等を担当し, シラバスに沿って授業を行った。講義時間外, オフィスアワー以外の時間でも質問を受け付け, 学生の基礎知識の習得ができるよう努めた。また, 卒業研究や修士学生の指導補助を行った。				
研究	0.40	これまでの研究成果について, 国内外で研究発表を行う。また, 海外研究者との交流をはかり, 質の高い研究の推進に努める。研究成果を論文等にまとめ, 成果の公開と研究発展に努める。				0.40	近赤外分光法を主とする計測技術の研究を行った。これまでの成果をとりまとめ, 1編の研究論文が国際学会誌に受理された。また, 近赤外分光法に関する講習会にて講師を務めるなど, 研究分野の発展に努めるとともに海外研究者との交流を図った。				
社会貢献	0.10	県内企業, 試験研究機関等と連携し, 共同研究を積極的に行う。特にサトウキビの価格取引に関して, 沖縄県と鹿児島県の製糖関係者と連携し, 品質評価システムを運用する。また, 沖縄県や農業団体と協力し, 沖縄産果樹のブランド化に関する研究を推進し, 産地強化のための情報を提供する。				0.10	沖縄県やJA等と連携して沖縄産果実の高品質化に向けた事業を実施し, 光センサーを用いた品質保証技術に関する研究を行い, 開発した成果の一部は実用化が勧められることとなった。また, 製糖工場で運用されるサトウキビ品質評価システムの維持業務を行うとともに, その管理に関する情報提供を行った。				
管理運営	0.10	部局内の委員会活動をはじめ, 管理運営活動に積極的に参加する。				0.10	学部入試委員や全学図書委員などの委員会活動を行うとともに, 学部の管理運営に関する活動に積極的に協力するよう努めた。				
進路指導	0.10	県内企業との交流を図り, 学生の意欲向上に努める。また, 3, 4年次には求人情報を提供するなど就職活動の支援を行う。				0.10	就職を希望する学生には新入社員の採用を予定している県内外の企業を学生に紹介した。休業期には, 農学関連の県内企業アルバイト等を紹介した。進学を希望する学生には大学院入学試験について説明し, その対策についてもアドバイスを行った。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		酒井 一人	所 属		農学部 地域農業工学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育	0.40	前期(応用数学、地域環境基礎演習I、水文気象学、外国後文献、数学・力学演習)、後期(水資源工学、水利環境学)を担当する。		0.40	左記の授業科目について、担当者としての責務を果たした。さらに、今後講義における学生の主体性を上げる工夫が必要である。			
研究	0.30	査読付き雑誌への投稿を行う。共同研究(ソルガム栽培実験)において責務を果たす。		0.30	共著者としての論文が受理された。連合大学院指導学生の研究について、修業年内での修了ができた。			
社会貢献	0.10	沖縄県および総合事務局の委員会における責務を果たす。		0.10	左記の委員としての責務を果たした。			
管理運営	0.10	地域農業工学科 学科長としての責務を果たす		0.10	最低限の責務は果たせたと考える。しかし、連絡事項の遅れなど学科メンバーに迷惑をかけることがあった点は反省が必要である。			
進路指導	0.10	学生の進路、特に進学に関する進路指導を行う。		0.10	学生の進路指導において、大学院への進学指導を行ったが十分な説明ができなかった点は反省の余地がある。			
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		瀬戸内 秀規	所 属		農学部 地域農業工学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.35	学部担当科目として、材料・コンクリート工学、応用力学、工学の力学、造構学総合演習、卒業論文をJABEEの教育目標に沿った水準、内容で提供する。修士課程においては、地盤工学特論、土質改善学特論、生産基盤工学特別研究Ⅰ、Ⅱ及びⅢを担当する。年次指導教員とし、て学生の生活状況確認および卒業生の就職の斡旋を行う。			0.35	全ての担当授業について中間試験の実施ならびに添削により受講生の学習達成度を確認するとともに、JABEE目標の水準の授業を展開した。また、プレゼン、配布資料などの充実さらに証拠資料の作成などに努めた。1年次指導教員として、生活状況確認および就職などについて指導した。		
研究	0.30	自然災害による地形の被災状況を巨視的に予測し得る力学地形モデルの構築のための研究を進展させる。科学研究費補助金等の外部資金の獲得に向けて取り組む。			0.30	自然災害による地形の被災状況を巨視的に予測し得る力学地形モデルの構築のための研究を進展させた。科学研究費補助金等の外部資金の獲得に向けて取り組んだ。		
社会貢献	0.10	研究成果の学術雑誌への投稿および学会発表を進めることにより社会貢献に努める。オープンキャンパスに向けた研究室の紹介等の準備および対応に取り組む。			0.10	学術雑誌に、2編の論文投稿および1編の学会発表で研究成果を社会に公表した。大学オープンキャンパス、卒業論文ポスターセッションに関する準備公開を行った。		
管理運営	0.25	教授会、学会会議などの各種委員会に参加し本学部の管理運営に努める。			0.25	教授会議、学科会議に参加して大学運営に携わった。また、2次入試験の運営業務を行った。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			